



子どもたちに のびのび・安全・豊かに育てほしいから

1 中校区の
小中一貫校計画

3校詰め込み、やっぱり無理です。

1 中校区の小中一貫校「基本計画」が発表されました。現交野小の敷地に、長宝寺小・1 中まで3校分を詰め込む計画のため、あちこちに無理のある計画になっています。

狭い運動場、プールなし。

「基本計画」では、小中一貫校の運動場は、メインとサブを設けるものの、メイングラウンド（8580㎡程度を想定）は、現在の交野小運動場（11,661㎡）の7割程度と狭くなります。

休み時間も体育の授業も、体格の違う小学生と中学生と一緒に使うのは危いので、交替でしか使えないことに…?! また、放課後は中学校の部活があるため、校庭開放（フリースペース）や放課後児童会は、「サブしか使えない」ことが予想されます。

プールは設置せず、いきいきランドのプールを使用するとされていますが、移動の時間や安全確保、市民利用との関係など、問題山積みです。なぜ1中校区だけ、プール無しなの？

廊下の両側にぎっしり教室が…

「基本計画」のA案・B案・C案に共通するのは、校舎は4階建て、廊下の両側に教室が並び、余裕のない配置です。

「窓を開けても風が通らない」「向かいの教室の音が気になる」「災害時、上の階から避難するのに時間がかかる（特に、支援学級が心配）」など、不安材料がいっぱい。

今後もっと少人数学級を進めたり、開発で児童数が増えた場合にも対応できる、余裕ある配置にするためには、交野小敷地に3校詰め込む計画自体に無理があります。

小学生と中学生をなぜいっしょに？

もともと、「長宝寺小が小規模すぎるので適正規模に見直す」との説明が、なぜ中学校まで一体にするマンモス校の計画となったのか、納得できる説明がありません。小学生、中学生それぞれの発達段階にあった学びや活動が保障される、教育環境が必要です。



いまの校舎はもう使えないの？

耐震が心配ですが…



交野市では、すべての小中学校の耐震補強工事を2012年までに完了しています。

市の「学校施設等管理計画」でも、交野小、一中とも、「耐震安全性は確保されている」「(校舎の)長寿命化改修は可能」とされています。

ただし、築50年を超える校舎もあり、トイレはじめ大規模な改修が必要です。“長寿命化(または大規模)改修”と“新しく建設”した場合の費用比較なども含め、「一貫校の建設ありき」でなく、十分な検討が必要です。



でも、もう決まってしまったのでは？



まだ決まったわけではありません。

1 中校区の小中一貫校について「基本計画」を市教育委員会は一方的に決定しましたが、議会で予算が決まっているのは、「基本設計」までです。一貫校を建設する予算や、小中学校の位置・名称を変更する「条例改正」が議会で可決されるまでは、まだ「決まった」わけではありません。いまこそ、一度立ち止まって、計画を考え直す時です。